



外来師長になって思うこと

外来師長 佐藤 信枝

中部労災病院の外来は1日約1500人、多い時には1800人の患者さんが来院されます。待合室では椅子が足りないことや、お待たせしていることが多く、ご迷惑をおかけして本当に申し訳ありません。医師・看護師ともにできるだけ時間通りに診察できるよう努力してまいります。

当院の外来はとても広く、目的の外来窓口や検査室の場所がわからずよく尋ねられます。今まで病棟勤務だった私も、最近やっとどこにどの診療科があるのかわかってきました。ですから患者さんの気持ちがよくわかります。上を向いて院内表示を見ながら歩いている方には声をかけるようにしていますのでご遠慮なくお尋ねください。

私たちは患者さんに安心して診察を受けることができるよう日々努力しています。そこで診察を受ける際にみなさんにお願いがあります。患者誤認(間違い)

防止のために、診察室に入るとき、注射などの処置のときには、お名前をフルネームで名乗っていただいています。どうぞご協力をお願いします。

また、外来では専門的な分野の研修を受けた認定看護師が活躍しています。前回のフィリアレターでも紹介されましたが、皮膚・排泄ケア認定看護師・がん化学療法看護認定看護師・緩和ケア認定看護師等が活躍しています。看護の立場で専門的な診察や処置、指導などを行っています。困ったことがあればいつでもご相談ください。

私たち外来看護師は安全で信頼される看護を提供するよう努力しています。病院にいられた患者さんに丁寧な対応に心がけ、気持ちよく診察を受けられるよう頑張っていますのでこれからもよろしくお願ひします。

編集後記

暑い名古屋の夏が始まった。

さて、当院の敷地内全面禁煙が実施されてから4ヶ月目に入ったところだが、患者さん等の理解及び協力により敷地内で喫煙される方を殆ど見られなくなった。しかし、病院前バス停及び病院周辺の路上には吸い殻のポイ捨てが目立っている。喫煙者の吸いたい気持ちは分かるが、モラルと常識をもって携帯灰皿の利用等をお願いしたい。

※病院周辺の環境美化にご協力を！

(E. T)

